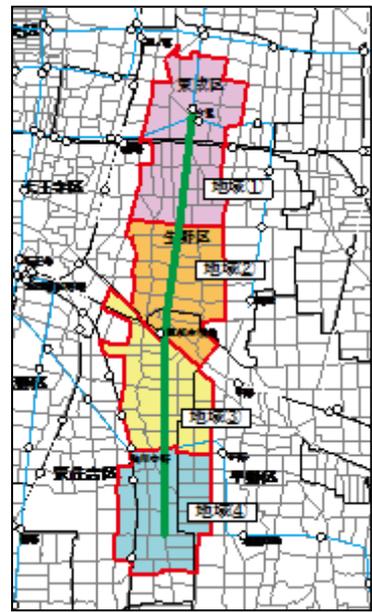
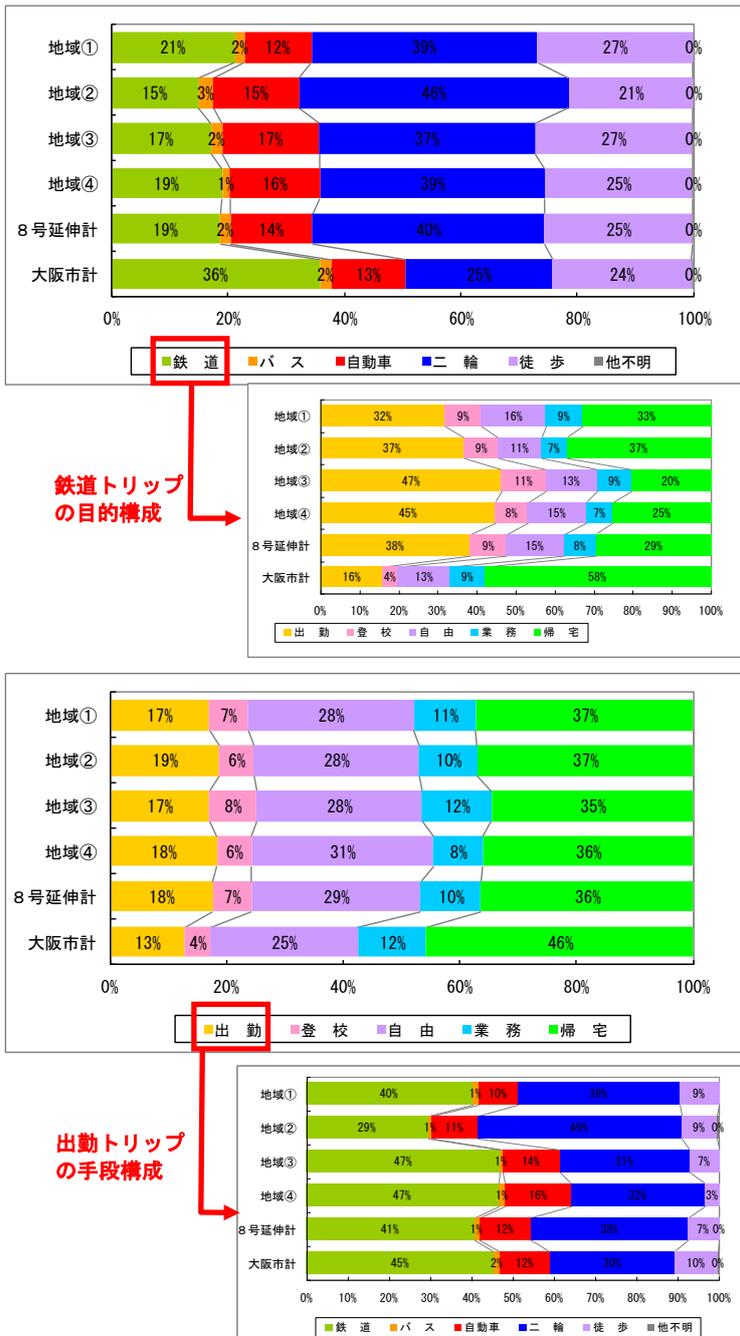


(4) 沿線の交通状況

① 沿線地域の交通特性 (交通手段・交通目的)

沿線地域は、大阪市全体と比べて鉄道分担率が低く、二輪の分担率が非常に高い。なかでも特に、地域② (四天王寺異線～国道 25 号間) での二輪の分担率が高く、二輪による出勤の割合が高い。



※発生ベースによる集計  
 集計地域がパーソントリップ調査ゾーンに比べて小さいため、面積比で案分して算出している。  
 二輪=バイク+自転車

資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

図 1-18 沿線の交通手段割合と交通目的割合

② 沿線地域からの鉄道利用駅及びトリップの目的地分布

<地域①>

初乗り駅としては、地下鉄今里駅が最も多く利用されている。周辺市町村の他、東大阪市への移動も多くみられる。

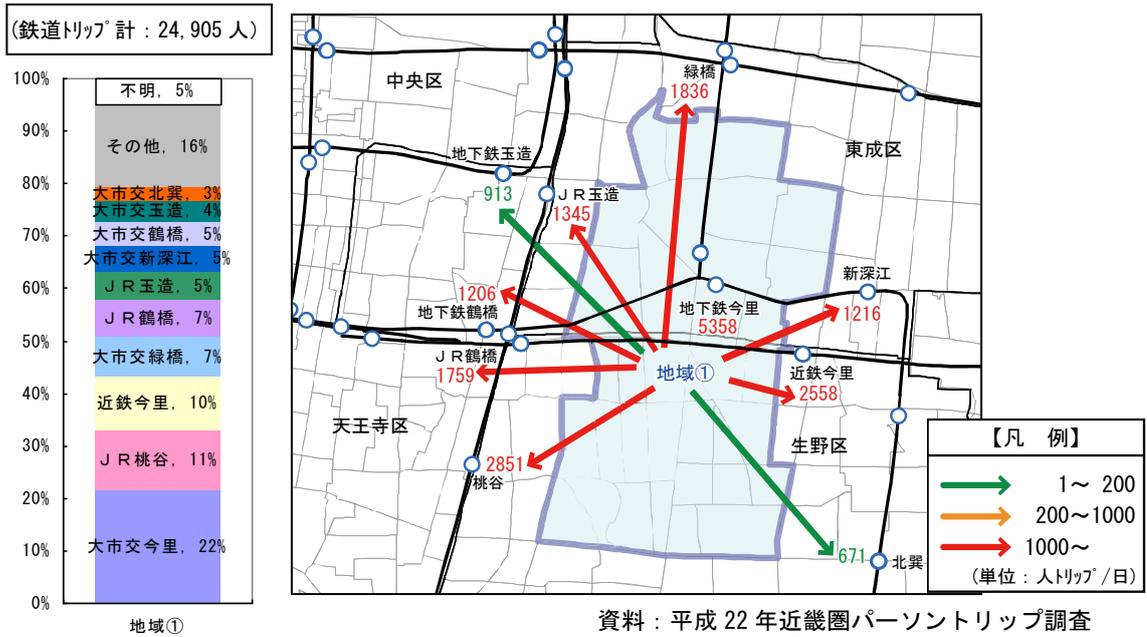


図 1-19 沿線地域からの初乗り駅構成比と初乗り駅分布<地域①>

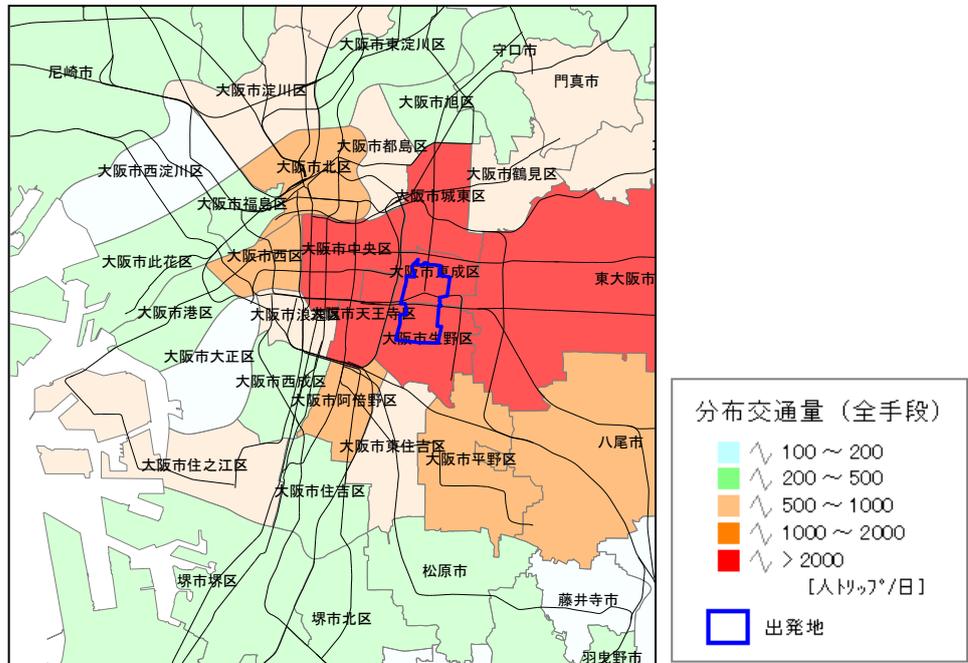
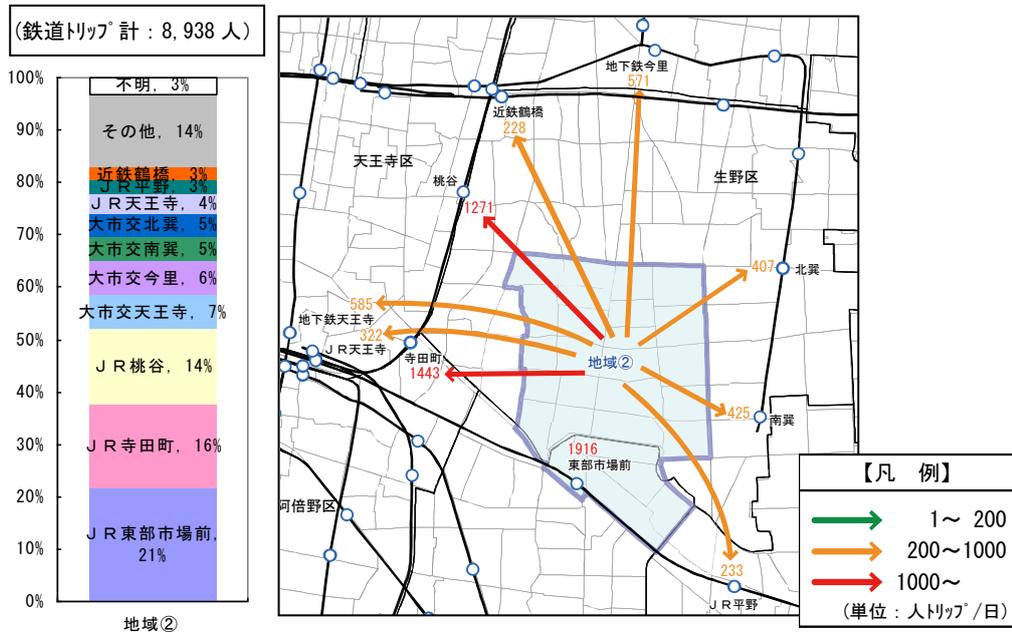


図 1-20 沿線の地域別目的地分布・全交通手段トリップ<地域①>

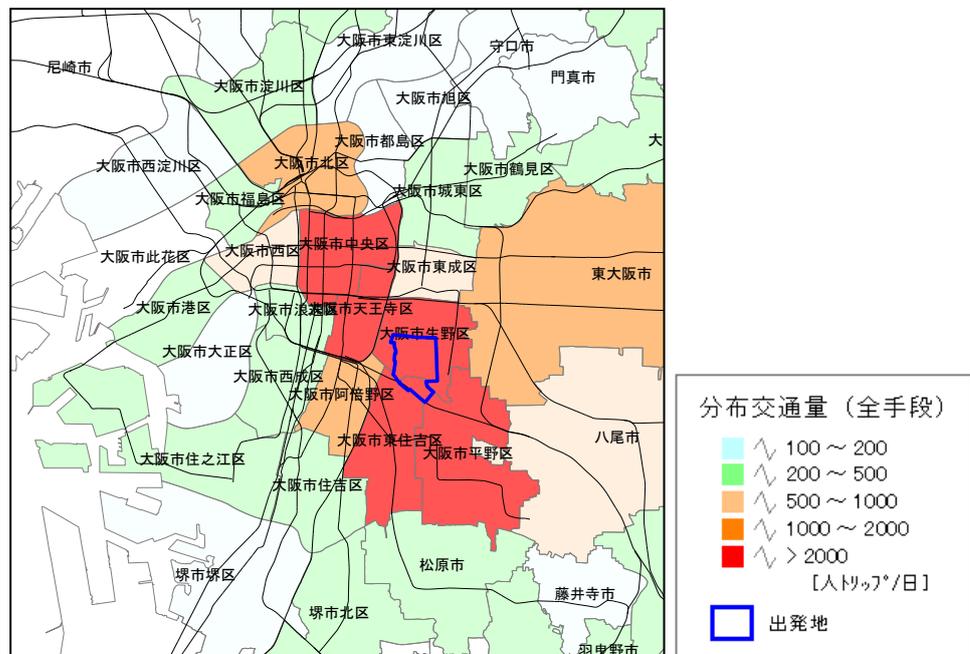
<地域②>

東部市場前、寺田町、桃谷等、JRがよく利用されている。また市内中心部や、東住吉区や平野区等へのトリップが多くみられる。



資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査  
(地域②からの鉄道トリップの初乗駅上位10駅を图示)

図 1-21 沿線地域からの初乗駅構成比と初乗駅分布<地域②>

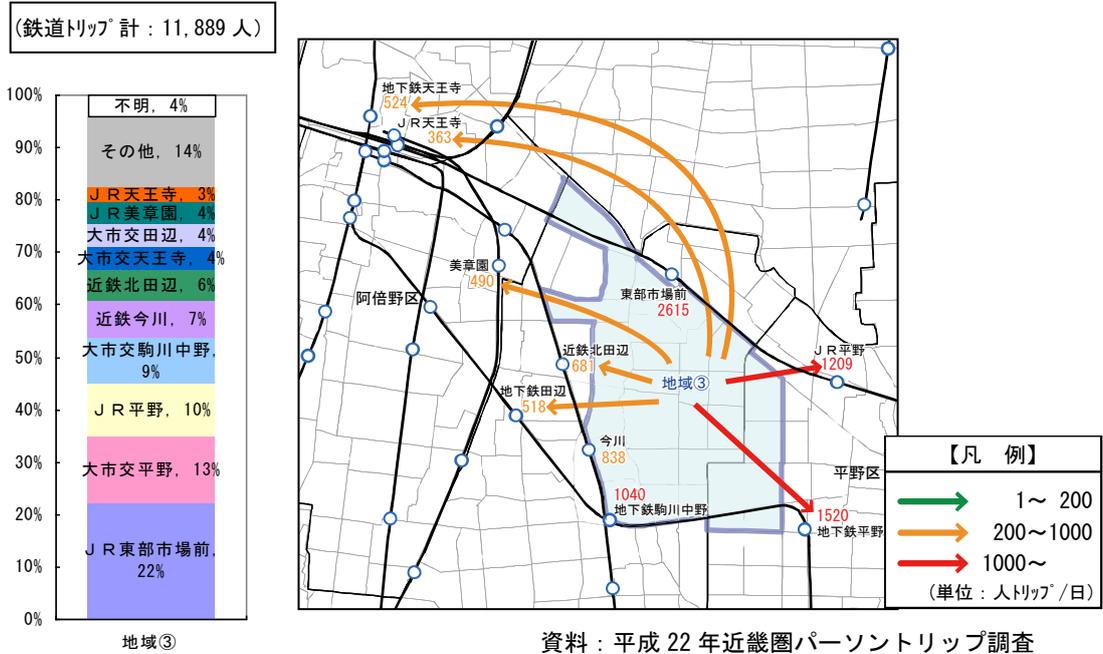


資料：平成22年近畿圏パーソントリップ調査

図 1-22 沿線の地域別目的地分布・全交通手段トリップ<地域②>

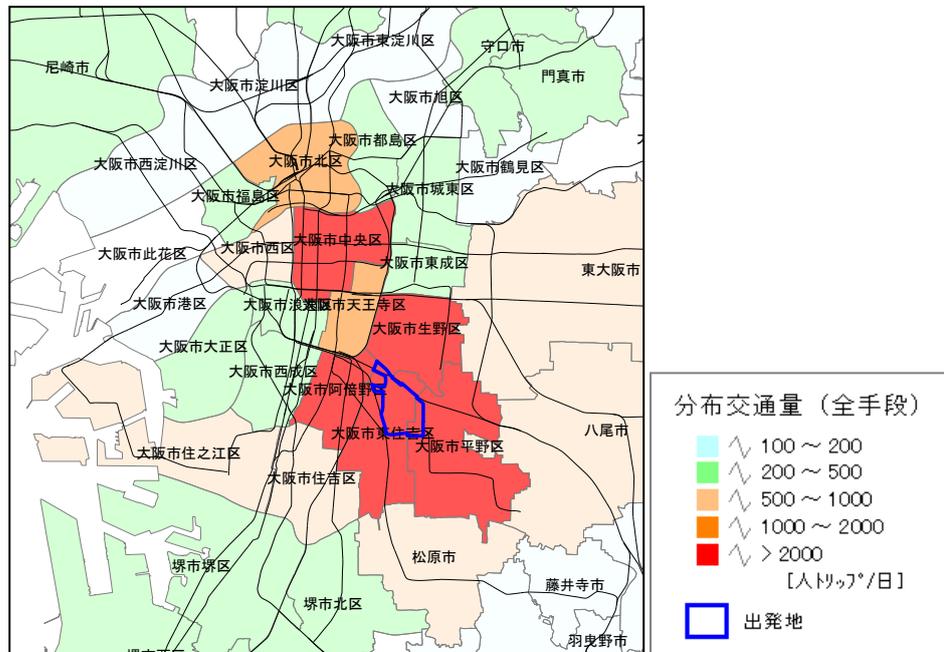
<地域③>

J R 東部市場前駅が最も多く利用されており、次いで地下鉄平野駅の利用が多い。トリップの目的地としては、周辺市町村に加え、中央区への移動が多い。



資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査  
(地域③からの鉄道トリップの初乗駅上位 10 駅を图示)

図 1-23 沿線地域からの初乗駅構成比と初乗駅分布<地域③>



資料：平成 22 年近畿圏パーソントリップ調査

図 1-24 沿線の地域別目的地分布・全交通手段トリップ<地域③>